

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



老いてなほ生きる証の日記買ふ
 方丈の旅立ち給ふ雪浄土
元町 竹内スミエ
 書初に人といふ文字ささへ合ひ
仲町 徳井 隆男
 かじられし根元の雪に糞二つ
南桜町 宮腰 幸子
 音も無くただしんしんと夜の雪
元町 杉山 繁良
 古家にねんねこ残り移りけり
西岡町 渋谷みさ子
 をとろへは逝く花道ぞ屠蘇祝ふ
緑町 池田 良子
 凍てる朝味噌汁そそぐ椀二つ
仲町 玉野 研一
 満天に星のくだけて凍てきびし
西町 金澤 頼子
元町 印牧 安子

凍てる夜しがない旅の追憶に
緑町 齋藤 嘉子
 年重ね見えてくるもの冬鏡
仲町 坂部 和子
 二つめは香りたのしみ蓬餅
元町 西崎 弘子
 雪掻いて雪無き街へ帰りゆく
屯田町 古屋 克江
 厳冬をペンギン歩きで生きのびる
仲町 梅基 文子
 孫からの手書きの賀状読み返し
旭町 大河 博子
 七草の香り仄かに朝の膳
旭町 大河内清枝
 家族してきねつき餅の昔かな
西町 岸波 君江
 皆集いすき焼き匂う大みそか
藤本町 鈴木ゆき子
 石段の奥よりもるる初燈
西町 高井 孝子
 遠き日の思い出ひとつ福笑い
東町 高草木喜代子
 黒豆の自家製きな粉昼は餅
西岡町 高瀬久美子
 凍てつくや満天の星時止まる
東町 高橋世津子
 元朝と思へば光り新たななり
西町 文梨 清子
 寒明けや今日の糠床息吐かず
仲町 芳賀 星子
 友見舞う足は重たくマスク顔
旭町 大河 茂



『スノーペアとであったひ』

サイド作
 マルーネ・ルーディン 絵
 はたさわゆうこ 訳
 (あずき出版)

冬の山になぜか1台の冷蔵庫。中からはまっ白なクマが！でも、ホッキョクグマではなく「スノーペア」という不思議なクマで…。外出がおっくうになる雪の日も、こんなクマがいたら遊びに行けまあね。



information 絵本の館から

新着図書

- なげか結果を出す人の理由 (野村克也 著)
- 現代語訳名作シリーズ・蟹工船 (小林多喜二 著)
- ネイマール (マイケル・パート著) ほか

今月のおすすめ絵本



『やきざかなののろい』

塚本やあし作
 (ポプラ社)

子どもの頃、「食べ物を残すと“もったいないおばけ”がやってくるぞ！」と言われたことはありませんでしたか？焼き魚は、昼も夜も24時間呪いまわりで、嫌いなお子さんはぜひ好きになってください。